

令和5年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特9	学校名	県立友部特別支援学校										学校長名	小沼博義				
教頭名	御子柴和之					教頭名						事務(室)長名	石川信生					
教職員数	教諭	59	養護教諭	3	常勤講師	10	非常勤講師	2	実習助手	2	寄宿舎指導員	13	事務職員	3	技術職員等	12	計	104
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数		
	幼稚部																	
	小学部	5	5	8	1	9	3	10	1	6	4	7	3	45	17	12		
	中学部	6	5	7	5	14	3							27	13	6		
	高等部	9	2	4	9	10	6							23	17	6		
	専攻科																	
														計	95	47	24	

2 目指す学校像

- ◆ 明るく楽しさみなぎる学校
- ◆ 力いっぱい活動できる学校
- ◆ 家庭や地域に開かれた学校

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
学校経営	<p>○各部に応じた職場・施設体験や見学を系統的に行い、児童・生徒の希望、特性に応じた進路指導の充実に努めてきた。また、現場実習及び校内実習の内容や実施形態を柔軟に見直し、卒業後の進路を見据えた実習となっていくように計画している。</p> <p>○各種の緊急時(てんかん発作・食物アレルギー・誤嚥)における訓練を全学年で実施するなど、校内の研修について充実してきた。</p> <p>今後、地域との連携を図り防災教育についても充実させていきたい。</p>	<p>○保護者が卒業後の進路について、早い段階から意識できるような情報提供と進路支援を引き続き努める。</p> <p>○児童生徒が自分で考え適切に行動できるように、保健教育や防災教育を充実していく。また、効果的な防災体系を構築し</p>

	<p>○昨年度は、PTA 主体で保護者向けの研修会を行った。今年度は、各委員会が計画する研修会や視察などの計画をしている。人や社会とつながる授業として、地域に向けた発信を進めていく。</p>	<p>ていくために、災害時の近隣関係機関との連携強化を図っていく。</p> <p>○保護者が主体となり、PTA 事業の計画や運営ができるような体制を整えていく。また、地域に向けた情報発信として、「ともとくマルシェ」の開催や、ホームページの充実を図っていきたい。</p>
学習指導	<p>○学習指導要領を踏まえた、年間指導計画の作成や授業づくりが定着してきた。ICT の活用も進んでおり、職員の研修も継続的に行っている。</p> <p>○「できた」「わかった」「もっとやってみたい」と感じる授業づくりに向けて、各部の実践等の情報を共有し、教科学習の系統性を図っていく。</p>	<p>○年間指導計画の作成や振り返りをとおして、教科学習の系統性や学習の裏付けについて、確認・検討する。</p> <p>○授業づくり（ICT の活用）や、教材教具についての情報の共有を行う。</p>

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 安心・安全・信頼される教育環境と危機管理体制の整備 2 子どもの実態や多様性を理解し、個に応じた自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進 3 学校教育環境の変化を的確に捉え、新しい知識や技能を学び続けることによる資質能力や専門性の向上 4 学校と地域が連携・協働の視点を持ち、地域とともにある学校づくりの推進

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりの推進	<ol style="list-style-type: none"> ① 「できた」「わかった」「もっとやってみたい」と感じる授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「めあて」「課題」を適切に設定し、児童生徒自身の「まとめ」や「振り返り」を大切にした実践 ② 一人一人の教育的ニーズに応じた ICT の効果的な活用と教師間の情報共有、職員研修の実施 ③ 自立活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家の活用や教科等の学習と関連を明確にした自立活動シートの検討と整理 ④ 学校テーマ実現に向けた各部、寄宿舎の主体的な経営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師のアイデアを活かした取組み
2 一人一人の障害の状態に応じた自立と社会参加を目指す教育の推進と地域に開かれた学校づくり	<ol style="list-style-type: none"> ① 卒業後の視点を踏まえた小学部・中学部・高等部の系統性のあるキャリア教育の推進と地域資源や施設等を活用した職業体験学習、体験的な活動を通しての人や社会とつながる授業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティスクール導入準備 ② 学校間、学校と地域のつながり、互いの学び合いを大切にした交流活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ ともとくマルシェの開催 ③ 全校あいさつ運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつマイスターの認定 ④ 教員の専門性向上に向けた各種研修の実施と専門性を活かしたセンター的機能の充実

<p>3 自分の体や健康への関心を高め一人一人の体力の向上と心の育成</p>	<p>① 相手の考えを尊重し、人を思いやることのできる豊かな心の育成 ② 専門家や保護者と連携した安全・安心な給食と食育、健康教育の推進 ・ からだが喜ぶ給食 ③ 児童生徒が主体的に取り組む防災安全教育の計画的な実施 ④ 感染症等予防対策の徹底と衛生面の意識向上</p>
<p>4 安全・安心な教育環境の整備と保護者、地域、関係機関との信頼関係の醸成</p>	<p>① 児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境（施設設備等）の整備 ② ヒヤリハット事例の蓄積と情報共有、各種マニュアルの見直し・改善による危機管理体制の充実 ③ 服務規律の確保とコンプライアンス意識の更なる向上を目指したボトムアップ型研修の計画的な実施 ④ 児童生徒の手本となり、おもてなしの気持ちと明るくきれいな学校を目指す取組（整理・整頓・清潔・清掃）</p>
<p>5 働き方改革</p>	<p>① 時間の使い方についての意識改革と勤務時間の適正管理 ② 業務改善（校務内容、学校行事の見直し、会議の効率化の推進等）</p>